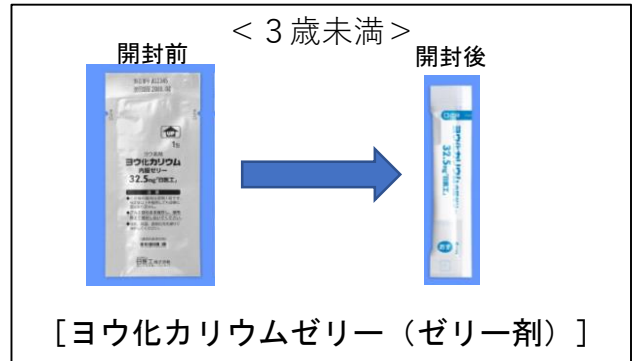


安定ヨウ素剤について

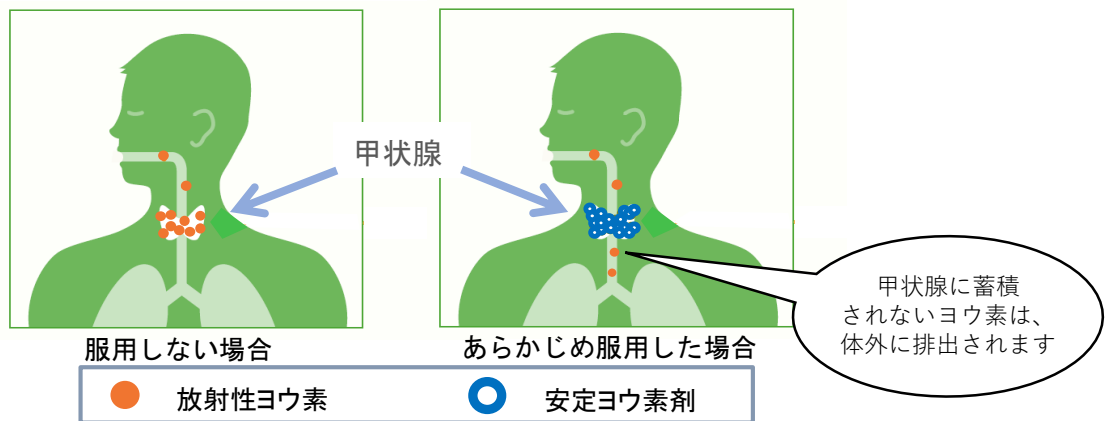
安定ヨウ素剤って何ですか？

- ・安定ヨウ素剤は、ヨウ化カリウムという成分名の医療用医薬品です。
- ・丸剤とゼリー剤があり、年齢に応じて定められた服用量をお渡しします。



なぜ安定ヨウ素剤を飲むのですか？

- ・原子力災害時には、放射性ヨウ素が大気中に放出される可能性があります。
- ・呼吸や飲食により放射性ヨウ素を摂取すると、甲状腺に集まり内部被ばくを起し、数年から数十年後に甲状腺がんを発症するリスクが上昇するといわれています。
- ・安定ヨウ素剤は、放射性ヨウ素が甲状腺に取り込まれるのを抑え、甲状腺の内部被ばくを予防・低減する効果があるため、緊急時に適切なタイミングで服用することが重要です。



注意

- ・安定ヨウ素剤は、放射性ヨウ素以外の放射性物質に対しては全く効果がありません。
- ・服用後も、必ず避難・一時移転などの防護措置を継続してください。

安定ヨウ素剤服用のタイミングと効果

服用のタイミング	効果
放射性ヨウ素を吸入する ・ 24時間前から吸入後2時間まで	放射性ヨウ素の甲状腺への集積の 90%以上の抑制効果
・ 吸入後8時間後	40%の抑制効果
・ 吸入後16時間後	抑制効果ほとんどなし

※ 安定ヨウ素剤は、服用後24時間程度効果が持続するとされています。

服用のタイミング・服用量

- ・服用の指示は、適切な服用タイミングを考慮して、国、県、市町が行います。
- ・服用量は必ず守ってください（多く飲んでも効果は上がりません。）
- ・安定ヨウ素剤の服用は基本的に1回です。（複数回の服用により副作用のリスクが高まります。）

対象者	服用量
生後1か月未満	ゼリー剤小（16.5mg）1包
1か月以上～3歳未満	ゼリー剤大（32.5mg）1包
3歳以上～13歳未満	丸剤1錠（50mg）
13歳以上	丸剤2錠（100mg）

服用にあたっての注意

- ・安定ヨウ素剤の成分またはヨウ素に対し、過敏症と診断されたことがある方は服用できません。
うがい薬（ポビドンヨード液、ルゴール液）、消毒液（ヨードチンキ）、ヨード造影剤などの薬品、昆布、昆布だし、ところてん、海苔などのヨウ素を含む食品にアレルギーのある方は注意が必要です。
- ・以下の病気等と診断されたことがある方、薬を服用している方は、原則として安定ヨウ素剤を服用していただきますが、服用した場合、症状に影響が出るおそれがあり、服用に注意が必要です。しかし、適量を1回服用した場合に重篤な健康影響が生じる可能性は極めて低いです。
 - ① 甲状腺の病気（甲状腺機能亢進症、機能低下症）の方
 - ② 腎臓の病気にかかっている方、腎機能に障害のある方
 - ③ 先天性筋強直症
 - ④ 高カリウム血症の方
 - ⑤ 肺結核（カリエス、肋膜炎などを含む）の方
 - ⑥ 低補体血症性蕁麻疹様血管炎の方または既往歴のある方
 - ⑦ ジューリング疱疹状皮膚炎の方または既往歴のある方
 - ⑧ 以下のお薬を服用している方
 - ・カリウム含有製剤（カリウム補給）
 - ・リチウム製剤（躁うつ病治療）
 - ・抗甲状腺薬
 - ・高血圧治療薬（アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤、カリウム貯留性利尿剤、ACE阻害剤）
- ・妊娠している方、授乳中の方も原則として安定ヨウ素剤の服用対象です。

安定ヨウ素剤を服用した後の注意点

- ・飲んだ直後の30分程度を目安に、体調の異変に注意しながら避難してください。
- ・もし、呼吸困難、血圧低下、発疹などの異変を感じた場合は、すぐに医療機関（重篤な場合は119番）にご相談ください。